



子供と一緒に好み焼き屋さんにも行きたいなと思って、その好み焼き屋さんが市内にないですね。
 それでは続いて、皆さんがどんな街に住んでみたいと考えているのか聞かせてください。高崎さんからどうぞ。
高崎 隣り近所の人たちと、心の温まる交流ができる街がいいです

ね。気軽にだれとでもあいさつを交わせるようなコミュニケーションのある街、そんな街に住んでみたいです。二年間大館で生活してみても知ったのですが、大館にはそんな雰囲気はまだ残っていて僕は好きです。
市長 お金がいっぱいあって何か作るとしたら、猪股さんは何を作りますか？
猪股 巨大な遊園地。遊びの要素がある施設を作りたいです。大館では今、大館ドームの建設を進めているようですが、スポーツだけでなくコンサートなどもできるようにしたいと思っています。作った後は、しっかりPRすることも必要ですね。高速道路を利用すると隣の県からでも集客ができると思いますから、大きなイベントを企画して市の活性化につなげるようにしたらどうでしょうか。鉄道を利用して来る人のために駅からドームまでシャトルバスを運行するのでもいいと思いますし、遠くから来る人が宿泊できるようにホテルなどの施設も必要だと思います。
藪田 僕は、生まれ変わるとしたらまた大館に生まれたいですね。東京に住んでいたことがあります。大館はゆっくりしているというか都会のようにせかせかしていないところが好きです。大館テンポというか、生活のリズムが僕にぴったりしている気がします。
貝森 私も大館にずっと住んでい

たいです。テレビとか映画とかで見る都会は確かに格好がよく写ってあこがれますが、それは視覚だけで見た都会であって実際に生活するととなると、ゴミゴミしているという人間関係がギシギシしているような感じがして大変疲れるような気がします。それに比べて豊かな自然に囲まれてゆとりを感じる大館の方がずっと住み心地がいいような気がします。
 ただ、大館に住んでいると、人と人との関係が近付き過ぎるというか、うわさ話でもすぐに広まってしまうんです。そんなところはあまり好きではないですけど。
笹谷 僕は産業デザインの勉強がしたくて今の職能短大を選んだのですが、大館で伝統工芸の曲げわっぱ作りに興味を持つようになっ



て曲げわっぱ作りを仕事に選びました。自分がやりたい仕事がある街、そこが住む街になったわけで、曲げわっぱとの出会いをさせてくれた大館は、僕にとっても大事な街になってしまいました。
市長 皆さん今日はどうもありがとうございました。
職能短大に在学している若い皆さん方は、かけがえのない豊かな大館の自然を守りたいと考えていることや選択の多様さを求めていること、また、この大館をどうとらえているのかなど、これから仕事を進めていくうえでの貴重なヒントをいっぱい教えていただきました。大館は今、たくさん課題を抱えています。すぐ目の前に迫った二十一世紀を展望しながら、今日の座談会のヒントを大館の飛躍のために生かしていきたいと思っています。

